

北海道リハ支援センターの活動状況

-第5報-

～地域リハはまちづくり～

北海道リハビリテーション支援センター
(社)北海道総合在宅ケア事業団
理学療法士 岡田しげひこ

北海道独自の地域リハ広域支援センター

地域リハ広域支援センター <地域リハビリ推進会議>

構成：医師会・歯科医師会
理学療法士会・作業療法士会
言語聴覚士会・看護協会・他
協力病院、市町村 等

事務局：リハビリ実施医療機関

理事会

運営委員会

講師バンク

地域懇談会

支援

保健所

相談

支援

相談

市町村，介護老人保健施設，訪問看護ステーション，病院・診療所，在宅介護支援センター，介護特別老人ホーム，デイケア施設，療養型病床群，他

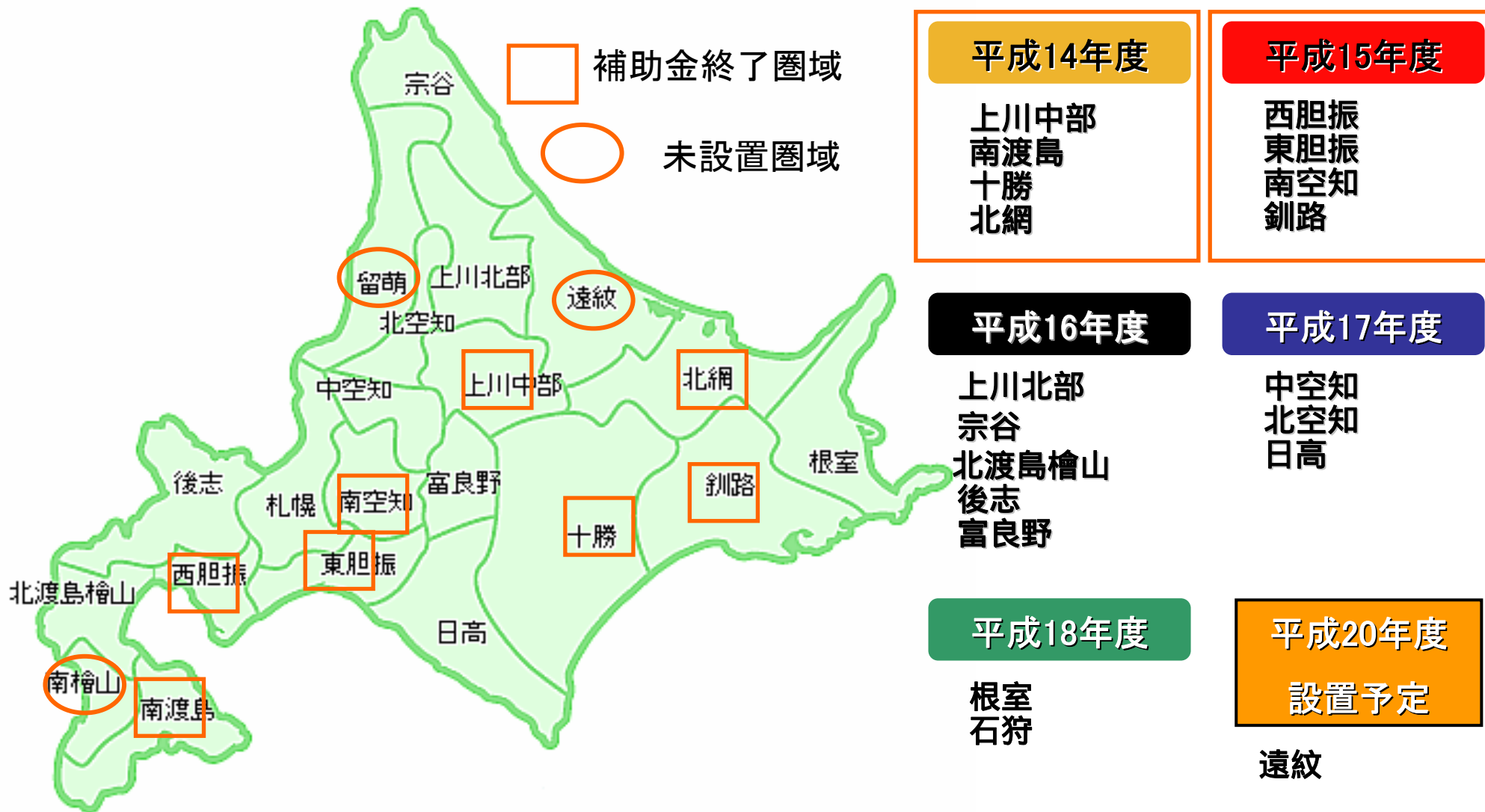
支援

住民

相談

患者の会
家族の会
ボランティアグループ

地域リハビリテーション広域支援センター



地域リハビリテーションの めざすもの

誰もが安心して生活を続けられる地域づくり

医療・福祉・保健
分野の
システムづくり

リハビリテーションの
知識・技術の
普及・啓発

医療・福祉・保健分野のシステムづくり

地域ニーズの把握

地域ニーズを知るための「地域懇談会」



地域づくり

地域の問題を解決する「戦略チーム」



まちづくり

まちづくりの定義

「ある地域(まち)が抱えている課題に対して、ハード・ソフト両面から課題の解決を図ろうとするプロセスのこと」

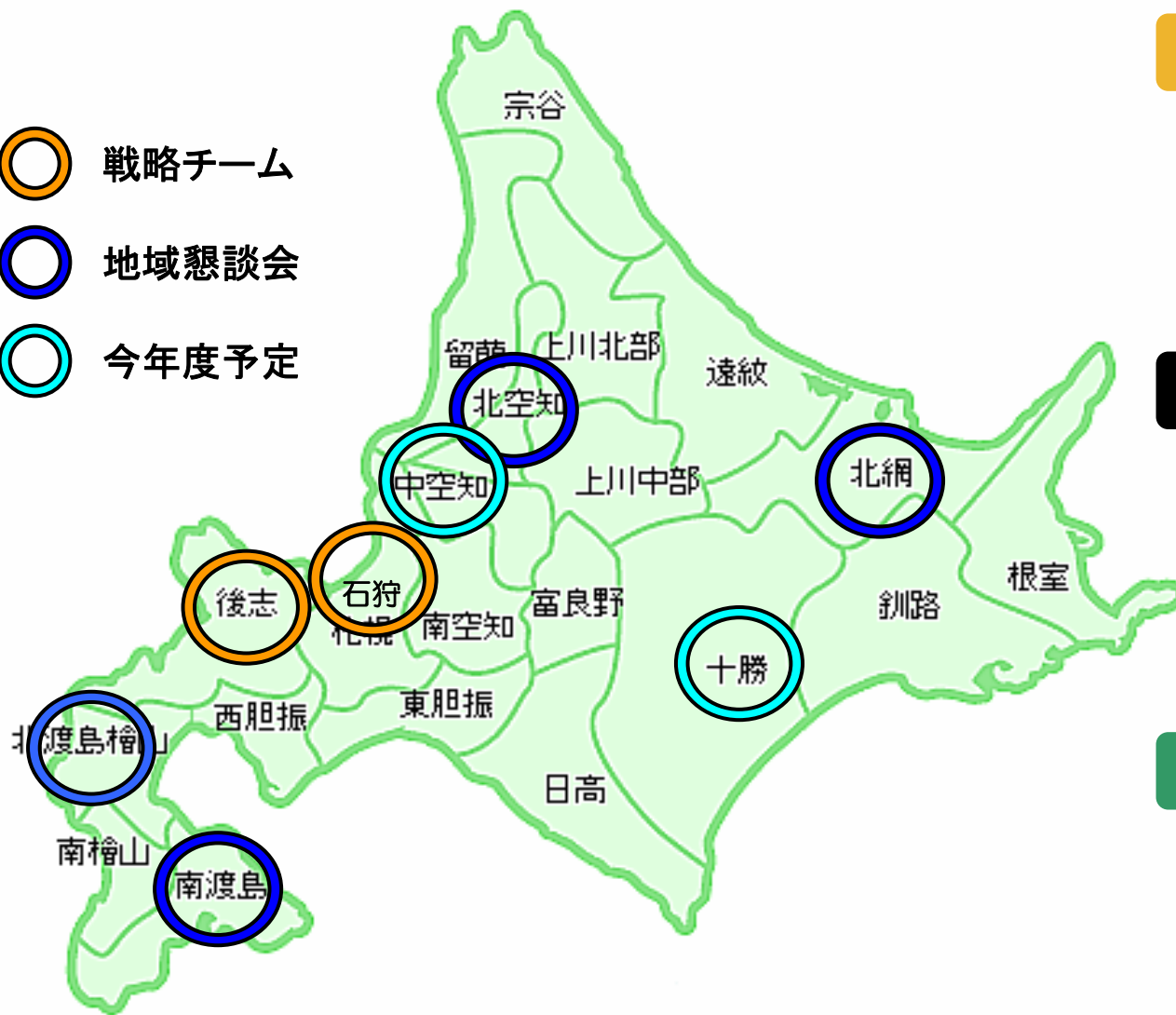
まちづくりは住民が主体となって、あるいは行政と住民とによる協働によるもの、と捉えられることが多い。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

地域リハ広域支援センター

<まちづくり的地域リハビリテーション活動状況>

-  戦略チーム
-  地域懇談会
-  今年度予定



平成14年度

上川中部
南渡島
十勝
北網

平成15年度

西胆振
東胆振
南空知
釧路

平成16年度

上川北部
宗谷
北渡島檜山
後志
富良野

平成17年度

中空知
北空知
日高

平成18年度

根室
石狩

平成20年度

設置予定

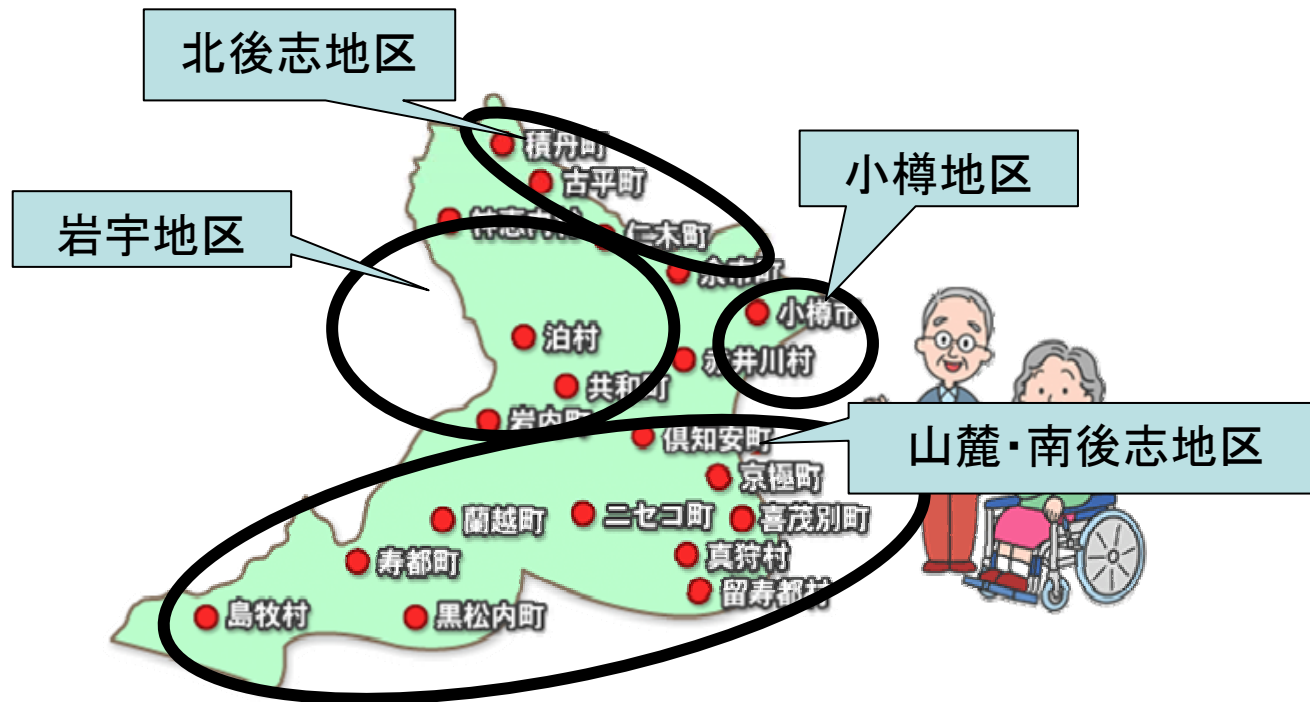
遠紋



しりべし けんいき
後志圏域

平成15年度に指定を受け、研修会中心の活動であったが、平成18年度のリハ支援センター研修会で、「研修ありき」から「システムづくり」に目覚め、その後は、「きめ細かい各地でのネットワーク化活動」、「戦略チームづくり」に取り組んでいる。

後志地域リハビリテーション推進会議 戦略チーム



戦略チーム会議

平成19年2月から
ほぼ毎月1回開催

- ・ 小樽地区、岩宇地区、北後志、山麓・南後志の**各地**
区2名ずつの協力者で構成
- ・ PT・MSW・介護士・社会福祉士・老健施設の事務次
長・ケアマネなど
- ・ 地区所管の保健所も参画

後志圏域のこれからの取り組み



戦略的に取り組むための体制強化

地域リハ活動が目指す方向の共有



いしかり けんいき

石狩圏域

平成18年度に指定を受けた18番目の後続圏域なため、最初から「研修ありき」ではなく「システムづくり」に精力的に取り組むことができている。また、保健所の保健師が主体的に活動しており、目標の共有、各地域の課題、人材の把握ができつつある段階。

石狩圏域での タウンミーティング (TM)

平成19年3月17日～12月末

この半年だけで
タウンミーティング
計 **9** 回！！

TM 1回
企画会議3回

石狩市

当

新篠津村

TM 5回
研修会4回
(連携パス、
病院紹介など)

江別市



札幌市

北広島市

TM 3回
企画会議1回

恵庭市

千歳市

- :リハビリ病院
- :リハビリ診療所

石狩保健福祉事務所千歳地域保健部
健康推進課 主任保健師 神林 美和子

石狩圏域のこれからの取り組み



保健所以外の専門職、市民の主体的参加

**課題をいかに解決に導くかという
長期的作戦(戦略)が必要**

北海道リハ支援センターの支援活動

これまでの支援活動

- ・新設の広域支援センターへの支援
- ・補助金終了後の広域支援センター活動継続への支援
- ・補助金終了予定の広域支援センターへの支援

これからの支援活動

- ・新設、補助金の終了、終了予定に関わらず、地域で継続的な活動ができていけるための、支援をしていく
- ・地域で継続的な活動をするためには、地域のニーズに沿った戦略的な取り組みが必要である
- ・そのための方法として、「まちづくり的地域リハ活動」の支援をすすめていきたい